



苗ヶ丘

舞鶴市立中舞鶴小学校
学校だより3月号
令和8年2月27日発行
<http://nakamaizuru-maizuru.edumap.jp>



夢へと続く、それぞれのレール



日差しのぬくもりに春の訪れを感じる頃となりました。子どもたちの表情にも、新しい季節への期待が膨らんでいるのを感じます。

そんな中、世界から大きな感動が届きました。ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックのフィギュアスケートペアでは、三浦璃来さん・木原龍一さんの「りくりゅう」ペアが、ショートプログラム5位からの大逆転で日本勢初の金メダルを獲得しました。

ショートプログラムではミスが響き、木原選手は落ち込んで立ち上がれないほどでしたが、三浦選手が「まだ終わってない。積み重ねてきたものがあるんだから。」と声をかけ、互いを信じて翌日のフリーに挑みました。その結果、世界歴代最高得点を更新し、一気に頂点へと駆け上がりました。その姿は、多くの人に勇気と希望を与えました。



～あきらめずに努力を続けることが未来を拓く～

そのメッセージは、今まさに一年を締めくくろうとしている子どもたちの姿と、どこか重なります。

6年生は、卒業という大きな節目を迎えようとする中で、これまでの歩みを振り返りながら、一日一日を大切に過ごしています。「6年生を送る会」では、家族や地域の方々への感謝、そして未来への希望を込めて、劇「未来へ～夢へと続く僕らのレール～」を発表しました。夢トレインに乗って、それぞれが心の中に描いている将来の夢を見に行くという内容で、美容師や先生、看護師、料理人などの職業に就き、いきいきと活躍している姿が描かれました。一人一人が未来に向かうレールを自分自身で選び、歩いていく力をはぐくんできた6年間。その集大成ともいえる堂々とした発表でした。

5年生は、「6年生を送る会」の企画や運営を最後までやり遂げ、最高学年に向けての自覚を大きく育てました。ひばり学級、1～4年生の子どもたちも、次の学年への準備を着実に進めています。



年度の締めくくりとなる3月。りくりゅうペアのように「あきらめずに挑戦し続ける姿勢」を胸に、6年生の劇が伝えてくれたように「自分の未来を信じる心」を大切に、子どもたち一人一人が「やりきった！」と思える最後の1か月となりますよう、全教職員で支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き子どもたちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。

校長 矢野 裕子
教職員 一同

寄付金へのご協力、ありがとうございます

「6年生を送る会」で150周年記念事業寄付金へのご協力をお願いしたところ、当日だけで総額136,000円が集まりました。ありがとうございました。記念事業成功に向けて、大切に使用させていただきます。寄付金はまだまだ受け付けておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

中舞鶴小学校
ホームページは
こちらから！

